【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】令和6年10月16日(2024.10.16)

【国際公開番号】WO2023/149337
【出願番号】特願2023-578519(P2023-578519)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｊ　1/44(2006.01)
Ｇ０１Ｊ 11/00(2006.01)
Ｇ０１Ｍ 11/00(2006.01)
Ｇ０１Ｒ 29/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｊ　1/44　　Ｍ
Ｇ０１Ｊ 11/00
Ｇ０１Ｍ 11/00　　Ｔ
Ｇ０１Ｒ 29/00　　Ｈ

【手続補正書】
【提出日】令和6年5月27日(2024.5.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
Ａ／Ｄ変換器より前段にアンチ・エリアシング・フィルタを有していないディスプレイ光計測装置において、
ディスプレイの光を受光し、刺激値に相当する強度を所定のサンプリング周波数で連続的に取得する刺激値取得手段と、
フリッカ計測の誤差要因となる着目周波数を設定する設定手段と、
前記サンプリング周波数を、前記設定手段で設定された前記着目周波数の２倍以上の自然数倍になるように決定する決定手段と、
前記刺激値取得手段により取得されたデータを用いてフリッカを計測するフリッカ計測手段と、
を備えたディスプレイ光計測装置。
【請求項２】
Ａ／Ｄ変換器より前段にアンチ・エリアシング・フィルタを有していないディスプレイ光計測装置において、
ディスプレイの光を受光し、刺激値に相当する強度を所定のサンプリング周波数で連続的に取得する刺激値取得手段と、
前記刺激値取得手段により取得されたデータを用いてフリッカを計測するフリッカ計測手段と、
を備え、
前記サンプリング周波数がフリッカ計測の誤差要因となる着目周波数の２倍以上の自然数倍であるディスプレイ光計測装置。
【請求項３】
前記着目周波数は５５Ｈz以上である請求項１または２に記載のディスプレイ光計測装置。
【請求項４】

前記着目周波数が１１０Ｈｚ以上である場合、前記サンプリング周波数を前記着目周波数の１／２に対して３倍以上の自然数倍である請求項１または２に記載のディスプレイ光計測装置。
【請求項５】
前記着目周波数は、ディスプレイの垂直同期信号の周波数と異なり、振幅強度が垂直同期信号の振幅強度よりも大きい周波数である請求項１または２に記載のディスプレイ光計測装置。
【請求項６】
前記フリッカ計測手段は、前記刺激値取得手段により取得されたデータをデジタルフィルタ処理する請求項１または２に記載のディスプレイ光計測装置。
【請求項７】
２次元計測を行う請求項１または２に記載のディスプレイ光計測装置。
【請求項８】
Ａ／Ｄ変換器より前段にアンチ・エリアシング・フィルタを有していないディスプレイ光計測装置により、ディスプレイの光を受光し、刺激値に相当する強度を所定のサンプリング周波数で連続的に取得する刺激値取得ステップと、
フリッカ計測の誤差要因となる着目周波数を設定する設定ステップと、
前記サンプリング周波数を、前記設定ステップで設定された前記着目周波数の２倍以上の自然数倍になるように決定する決定ステップと、
前記刺激値取得ステップにより取得されたデータを用いてフリッカを計測するフリッカ計測ステップと、
を含むディスプレイ光計測方法。
【請求項９】
Ａ／Ｄ変換器より前段にアンチ・エリアシング・フィルタを有していないディスプレイ光計測装置により、ディスプレイの光を受光し、刺激値に相当する強度を所定のサンプリング周波数で連続的に取得する刺激値取得ステップと、
前記刺激値取得ステップにより取得されたデータを用いてフリッカを計測するフリッカ計測ステップと、
を含み、
前記サンプリング周波数がフリッカ計測の誤差要因となる着目周波数の２倍以上の自然数倍であるディスプレイ光計測方法。
【請求項１０】
前記着目周波数は５５Ｈｚ以上である請求項８または９に記載のディスプレイ光計測方法。
【請求項１１】
前記着目周波数が１１０Ｈｚ以上である場合、前記サンプリング周波数を前記着目周波数の１／２に対して３倍以上の自然数倍である請求項８または９に記載のディスプレイ光計測方法。
【請求項１２】
前記着目周波数は、ディスプレイの垂直同期信号の周波数と異なり、振幅強度が垂直同期信号の振幅強度よりも大きい周波数である請求項８または９に記載のディスプレイ光計測方法。
【請求項１３】
前記フリッカ計測ステップでは、前記刺激値取得ステップにより取得されたデータをデジタルフィルタ処理する請求項８または９に記載のディスプレイ光計測方法。
【請求項１４】
２次元計測を行う請求項８または９に記載のディスプレイ光計測方法。
【請求項１５】
Ａ／Ｄ変換器より前段にアンチ・エリアシング・フィルタを有していないディスプレイ光計測装置であって、ディスプレイの光を受光し、刺激値に相当する強度を所定のサンプ

リング周波数で連続的に取得する刺激値取得手段と、前記刺激値取得手段により取得されたデータを用いてフリッカを計測するフリッカ計測手段と、を備えたディスプレイ光計測装置の前記サンプリング周波数を決定するデータ処理装置であって、
フリッカ計測の誤差要因となる着目周波数を設定する設定手段と、
前記サンプリング周波数を、前記設定手段で設定された前記着目周波数の２倍以上の自然数倍になるように決定する決定手段と、
を備えたデータ処理装置。
【請求項１６】
Ａ／Ｄ変換器より前段にアンチ・エリアシング・フィルタを有していないディスプレイ光計測装置であって、ディスプレイの光を受光し、刺激値に相当する強度を所定のサンプリング周波数で連続的に取得する刺激値取得手段を備えたディスプレイ光計測装置の前記サンプリング周波数を決定するデータ処理装置であって、
フリッカ計測の誤差要因となる着目周波数を設定する設定手段と、
前記サンプリング周波数を、前記設定手段で設定された前記着目周波数の２倍以上の自然数倍になるように決定する決定手段と、
前記刺激値取得手段により取得されたデータを用いてフリッカを計測するフリッカ計測手段と、
を備えたデータ処理装置。
【請求項１７】
前記着目周波数は５５Hz以上である請求項１５または１６に記載のデータ処理装置。
【請求項１８】
前記着目周波数が１１０Hz以上である場合、前記サンプリング周波数を前記着目周波数の１／２に対して３倍以上の自然数倍である請求項１５または１６に記載のデータ処理装置。
【請求項１９】
前記着目周波数は、ディスプレイの垂直同期信号の周波数と異なり、振幅強度が垂直同期信号の振幅強度よりも大きい周波数である請求項１５または１６に記載のデータ処理装置。
【請求項２０】
前記フリッカ計測手段は、前記刺激値取得手段により取得されたデータをデジタルフィルタ処理する請求項１５または１６に記載のデータ処理装置。
【請求項２１】
２次元計測を行う請求項１５または１６に記載のデータ処理装置。
【請求項２２】
請求項１５または１６に記載のデータ処理装置がコンピュータであり、
フリッカ計測の誤差要因となる着目周波数を設定する設定ステップと、
前記サンプリング周波数を、前記設定ステップで設定された前記着目周波数の２倍以上の自然数倍になるように決定する決定ステップと、
を前記コンピュータに実行させるためのプログラム。